

# 自治連よなご

第51号

発行 米子市自治連合会

(事務局 米子市企画部ふるさと創生推進局市民自治推進課内) 編集 『自治連よなご』 編集委員会

平成28年(2016年)10月1日発行

## 米子市自治連合会 平成28年度定例総会開催

5月21日(土)米子市文化ホールを会場に定例総会を開催しました。表彰や事例発表、事業計画等決定、新年度役員選出などが行なわれ、今年度のスタートとなりました。

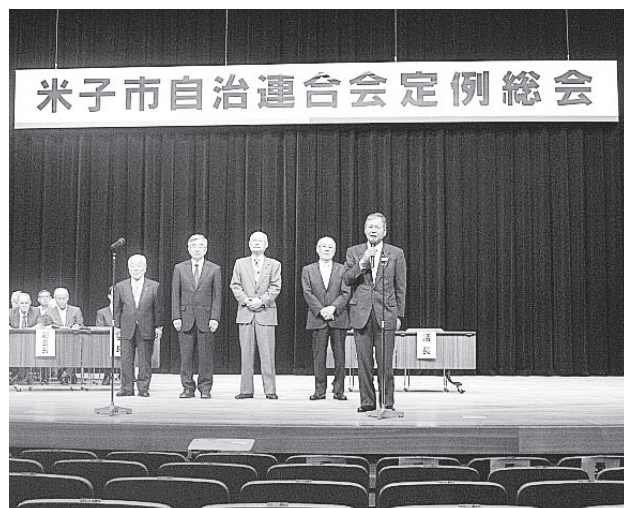
### ■感謝状贈呈(自治会長10年在任)8名

義方地区(立町2丁目自治会)	鹿島 恒勇 氏
加茂地区(三柳団地4区自治会)	松岡 勉 氏
河崎地区(御建自治会)	北村軍二郎 氏
福生西地区(温泉1区自治会)	佐藤 武儼 氏
福米東地区(上場谷2区自治会)	八幡 忠義 氏
彦名地区(彦名9区自治会)	東中 信正 氏
成実地区(古市自治会)	赤本 保広 氏
巖地区(二本木自治会)	妹尾多紀一 氏

### ■事例発表 車尾地区 さんさん会

福生東地区 米子福生風の会

\*前年度鳥取県頑張る住民自治活動表彰受賞団体(鳥取県知事表彰)



## 自治会への加入の促進に関する協定を締結

自治会への加入促進の取り組みとして、米子市自治連合会、公益社団法人鳥取県宅地建物取引業協会西部支部及び米子市の三者で、平成28年7月15日に「自治会への加入の促進に関する協定書」を締結しました。

今回の協定締結により、米子市内に転入、転居される方に対して、公益社団法人鳥取県宅地建物取引業協会西部支部の協力を得ながら加入率向上を目指すものです。一番の地域コミュニティである自治会への加入促進を図ることによって、明るく住み良い、安心で安全なまちづくりを進めていきます。

### 自治会への加入の促進に関する協定書

米子市自治連合会(以下「甲」という。)と公益社団法人鳥取県宅地建物取引業協会西部支部(以下「乙」という。)と米子市(以下「丙」という。)とは、自治会への加入の促進に関し、次のとおり協定を締結する。

(目的)  
第1条 この協定は、甲、乙及び丙が相互に連携し、及び協力して、丙の住民の自治会への加入を促進し、自治会の組織及び活動の充実を図ることにより、明るく住み良い安全で安心なまちづくりを目指し、もって地域社会の活性化に資することを目的とする。

(自治会への加入促進)  
第2条 乙は、乙の会員のうちから、次項の規定による加入の働き掛けについて協力する者(同項において「協力事業者」という。)を選定するものとする。

2 乙は、協力事業者が住宅の販売又は賃貸住宅の管理、仲介等を行う場合においては、当該協力事業者は、その相手方の属する世帯に対し、自治会への加入の働き掛けを行わせるものとする。この場合において、乙及び協力事業者は、甲又は丙が作成した自治会への加入に関する啓発用品を活用するものとする。

3 前項に定めるもののほか、甲、乙及び丙は、相互に連携して、自治会への加入の促進に関して必要と認められる事業を行うものとする。

(有効期間)  
第3条 この協定の有効期間は、この協定の締結の日から平成29年3月31日までとする。ただし、有効期間満了の1か月前

までに、甲、乙、丙いずれも何らの意思表示を行わないときは、この協定は、1年を単位として更新するものとし、以後この例による。

2 甲、乙又は丙は、この協定を解除しようとするときは、当該解除の日1か月前までに、他の当事者に対し、その旨を申し出なければならない。

(疑義等の決定)

第4条 この協定に定めのない事項又はこの協定に関し疑義を生じた事項については、甲、乙、丙協議の上、定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本書3通を作成し、甲、乙、丙記名押印の上、各自その1通を保有するものとする。

平成28年7月15日

甲 米子市自治連合会

会長 松本 良

乙 公益社団法人鳥取県宅地建物取引業協会西部支部

支部長 渡邊 俊祐

丙 米子市

米子市長 野坂 康夫



# 自治会活動!!

## だウオーク大会

自治会 会長 浜田 幸夫

体育部は、健康増進と歴史文化の探求を目的として「江戸時代のロマンを求めて」の大会を開催し、約50人が参加して米子城主ゆかりの墓所を見学しました。

最初は、荒尾家の菩提寺・了春寺が主催で、次は初代米子城主・中村一忠が主催（花園町1丁目）。最後は中村一忠の菩提寺・総泉寺（愛宕町）が主催となり、どの墓域も堂々とした石碑や

五輪塔が建立され、殿様の権威を誇っています。往復5km。因幡街道や出雲街道を歩き、道中には西田税、生田春月の生家跡や日野往來の分岐点「ひょうたん小路」を見ました。復路は外堀跡を散策し、往古の街並みを楽しみました。

歩きたがりができ、昔の米子の一端を知ることができ、まさに充実したウォーキング大会でした。



中村一忠の墓所を見学する参加者（感徳寺で）

## 涼祭、楽しんだ納涼祭

自治会 会長 吉村 秀次

安全、安心で住みやすいまちづくりに貢献する夏祭り！みんなで「納涼祭」をスローガンに、7月30日に開催し、納涼祭を開催しました。

長に採買としてご臨席賜りまして、この「これが日本のおまつりさ」を市民館教室・同好会の「ハワイアン」で「健康体操やって未来や塾」で楽しんでいます。広場には、かき氷、ヨーヨー、手打ちそば、ウモロコシ、焼き鳥、焼きそば、露天（地元有志の皆さんの出店）がそれぞれお目当ての品を買ったので、広場は大混雑していました。盆踊り、大きな太鼓が準備され盆踊りの五本松の替え歌の「われら人形節」「かんど」等を皆でにぎや



かに踊りました。最後は全員参加のじゃんけん大会があり、大いに盛り上がり、勝ち残った人に景品が渡されました。来年の再会を約束して閉会しました。

地域の人々が集まり、顔見知りになることで普段から挨拶できるよう、これからもいろいろなお場を提供していきたいと思っています。

## 第49回全国ホタル研究会

鳥取県よご大会実行委員長(ホタルネット春日会長) 田辺 雄一

全国ホタル研究会が平成28年7月1日～3日まで、米子コンベンションセンターを主会場として盛大に開催されました。北海道～沖縄久米島まで日本全国からたくさんの方々が集まり、衆参国会議員、鳥取県知事、米子市長をはじめ鳥取県西部の市町村長が全員で歓迎し、楽しい一時を過ごして頂きました。

高校生によるオープニング「荒神神楽の舞」、交流懇親会での子ども達の「米子がいな太鼓」、「安来節やドジョウすくい」、「淀江さんご節」と地元芸能披露し、全国の皆さんに堪能して頂きました。

算蚊屋小学校をはじめ、大山小学校、南部町見小学校、江府小学校、日南小学校とそれぞれ演技や研究発表をし、地域一帯となった活動を全国のPRにPR出来ました。そして、なにより大成功だったのが、日南町福万来のヒメボタルとゲンジボタルのゴ

っているけど...

大篠津町は航空自衛隊美保基地があり、滑走路を供用している米子空港が存在します。米子空港滑走路を2500メートルに延長する事に伴い、平成17年度から構造検討、設計がされ、平成19年度に防音堤が完成しました。また、平成21年度には滑走路の延長が完成しました。所謂航空機の騒音被害を少しでも和らげる対策です。

家の防音工事はよく知られており、その効果は体感できるが、外での防音堤で航空機の騒音を縮小出来るか甚だ困難であり、器材による測定効果はでていますが、体感効果は何とも言えません。

さて、学問的な話は別にしてその防音堤の草刈を私連自治会の有志により、平成21年度から毎年2回「愛労ボランティア」の組織を結成し、ボランティア活動をしています。防音堤は高さ約5メートルの長さ約120メートルの台形の構造で二箇所あります。従って斜面の草刈が中心になります。最初は

ラボレーションでした。天候や飛翔状況ですが、当日はヒメゲンジも数えきれず、乱舞で、全国の愛好家を魅了しました。中でも最高との評判でした。

ホタル鑑賞後、ホテルに帰着しますが、誰もが、疲れよりも驚嘆の声を発した行きたいという方が大半でした。

米子市、江府町、南部町、日南町、分科会を行いました。全て好評の大会は大成功だったと思います。

よご大会決定後実行委員会を立ち上げ、大会取りをし、大会時もたくさんの方々が来られ、地域全体の結束力が更に強くなり、今後の活動の源となること

しよう。関係者の皆様、ごちそうございました。

## ピタウネットワーク

## 真誠会

山陰・米子・皆生温泉  
政府登録国際観光旅館

四季を奏でるさらさの宿

「安心葬儀」"小さな葬儀"から"大きな葬儀"まで



会席・折詰・仕出し

大小宴会 会場完備

# 平成27年度鳥取県頑張る住民自治活動表彰受賞団体 **さんさん会**

## 県知事表彰に感謝

さんさん会会長 **山根 宏司**

○素敵な家、モダンなアパート、子どもの声の響く街、  
観音寺新町1～5丁目

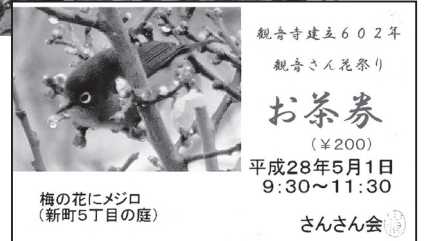
○屋号が息づく、涼風と水音の村、戸上

○門名で呼び合う山裾の村、観音寺

旧観音寺村（現 新町1～5丁目・戸上・観音寺）の田園風景は、もう目にするには出来ません。波打つ稲穂・赤とんぼ・ドンコ・ミズスマシ・遠い昔の思い出です。今では整然とした美しい街に、子どもの声が響き渡り、そこかしこで談笑の輪が広がっています。

さんさん会は新町・戸上・観音寺の住民が親睦を深めながら「新しいふる里作り」に取り組む会です。古墳時代から現代まで、無数にある地域の宝を再発見、再考しながらの、ゆったりとした活動です。

昨年度、この活動が自治連のご推挙で、県知事表彰をいただくことが出来ました。この受賞を励みとし、今後も、地域の連携と親睦の輪を広げてまいります。



米子市観音寺地区さんさん

検索

◎会長 ○副会長

淀	大	春	五	永	尚	成	夜	富	和	大	崎	彦	福	福	福	福	河	加	車	住	義	就	明	啓
江	県	高	日	石	江	徳	見	益	田	篠	津	名	米	米	生	生	崎	茂	尾	吉	方	将	道	成
丹	奥	後	内	妹	松	大	松	手	田	吉	武	木	堀	八	福	吉	北	梅	高	森	杵	上	大	大
羽	田	藤	田	尾	井	塚	本	島	邊	岡	良	村	堀	幡	景	村	村	林	野	脇	築	橋	櫃	西
久	登	修	欣	多	克	清	喜	博	忠	元	賢	吉	純	忠	順	秀	浩	和	卓	俊	晃	興	昭	
雄	二	男	紀	一	英	徳	啓	眞	博	雄	元	春	寿	義	一	次	史	男	夫	朗	治	紀	彦	

平成28年度  
米子市自治連合会  
常任委員(各地区自治連合会長)  
のみなさん

## がいな祭り募金へのご協力ありがとうございました。

「第43回米子がいな祭り」の開催にあたりまして毎年格別なご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございました。本年も自治会を通じて変わらぬご支援を賜り、**2,735,978円**もの募金をいただきました。厚くお礼申し上げます。



## 編集後記

最近の新聞の編集手帳に、プロとアマはどう違うのだから。英文学者にして駄洒落の名手、小田島雄志（小生は全然知らなかった）さんの説は味がある。

「その道に苦勞する人が女人、その道を知ろうとする人を素人という」と言う一文がありました。すごく的をえた味のある洒落で大変感心しました。

「自治連よなご」第51号の編集委員に指名され、事務局の方及び他の3名の方と何回かの打ち合わせを重ねたけど、小生は知ろうとする事ばかりで、苦勞して立派な編集をとる気持ちに欠けていたと深く反省しました。当然、女人ではなく素人なんです。

何回かの校正を重ね編集を終える事ができましたが、記事の投稿にご協力していただきました自治会の皆様と感謝と御礼を申しあげます。また、今後の編集にあたり努力して参りますので、皆様のご協力とご支援をお願いします。